

「米子駅南北自由通路等整備事業」に関する意見提出票

住 所 (法人の場合は、所在地)	鳥取県米子市西福原3丁目7-32 ホンムラビル301 グラムデザイン一級建築士事務所
名 前 (法人の場合は、名称及び代表者)	代 表 / 木 村 智 彦
電話番号	0859-34-3552
ご意見欄	<ol style="list-style-type: none"> 1. 平成27年度に行われた「米子駅南北自由化通路整備事業」のパブリックコメントで初めて市政に意見を出してみたが、その結果として公開された資料には愕然とし、激しい憤りを感じずにはいられなかった。米子市のパブリックコメントは、意図を持って組み立てられた文章の言葉尻りを簡単に弄り、箇条書きに直し、上がった意見を一方的に整理し、回答したこととしている。これでは、自分の意見がどの意見に集約されているのか探すのも一苦勞であり、市政のパブリックコメントの結果にも文脈を断ち切ることににより、熟考して出した意見そのもの熱が奪われたと感じた。 2. パブリックコメントは、意見を徴収することは出来ても、事業内容を大きく変更するような意見が拾われることはない。非情で一方的な手法だ。 3. 周南市が開催した徳山駅北口前広場、南口駅南広場及び南北自由化通路(素案)に関するパブリックコメントにおいては、市民からの意見を集約して回答をしてはいるが、意見に番号を付けて、市民からの意見も手書きの図なども含め、そのまま番号順に見えるように、HPに公開している。 4. 米子市の行政は、市民に「米子駅南北自由化通路整備事業」の内容を周知する努力を怠っている。 5. 平成27年度に行われた「米子駅南北自由化通路整備事業」に於いても、今回のパブリックコメントに於いても説明資料が不十分で、内容の全貌と、今までの経緯が一般市民には理解できない。 6. 米子駅の周辺地区の状況を整理し、抱える課題や、改善方法と合わせて、「米子駅南北自由化通路整備事業」の説明を行うべきである。 7. 平成27年度に行われた「米子駅南北自由化通路整備事業」にパブリックコメントにおける概算工事費が削減され、補償費用が上乘せされているがその詳細がわからない。 8. 平成27年度に行われた「米子駅南北自由化通路整備事業」にパブリックコメントにおける概算工事費では、自由化通路に33億円、駅舎(半橋上駅に7億円)という項目があったが、第二回目の概算事業費には、駅舎(半橋上駅)の項目が消え、自由化通路工事費が24億円に圧縮されている。自由通路工事費の概算内訳は公開されないのか。 9. 本事業に関して、国の交付金を活用し、鳥取県からの財政支援を受ける予定とあるが、それら交付金や財政支援の内容と市の負担がどの程度なのかの説明がない。

10. 今後の事業スケジュールについて、議会で確定的ではないという答弁があったが、ただの歩道橋をつくる事業に終わる、今の計画で進めるべきではない。計画は一から見直し、用地買収からやり直し、設計もやり直すべき。
11. 駅舎の1/3を残し、1/3を新駅ビルに、1/3を半橋上駅とする計画は、米子の玄関口としての駅舎が現在よりも、米子の玄関口に相応しくない都市空間を創出するのではないかと危惧している。
12. 駅舎の1/3を残し、1/3を新駅ビルに、1/3を半橋上駅とする計画は、JR米子支社の方からは米子の公共事業にかからなかったからという説明を伺ったが、米子市都市計画課の方からはJRの都合であると話された。そのような計画となった経緯と真相が解らない。
13. 平成27年度に行われた「米子駅南北自由化通路整備事業」にパブリックコメントの結果に、意見に対する市の考え方を、「米子市、JR米子支社、鳥取県の三者で十分な協議と検討を重ね、情報提供を行ったり、市民の意見を伺う」と回答された意見には、今後も明確な説明や市民との議論の場が設けられないのではないかと危惧している。
14. 一度、米子市長はじめ米子市の担当者、JR米子支社、鳥取県の担当者も参加する、三者協議をパネルディスカッションのようなカタチで行なってみては如何か。
15. 駅北からのイメージパースに「第1回パブリックコメントの意見を参考に、自由通路中央に”休憩スペース”を計画しました」という注釈に驚愕した。本来なら、もう少し知恵を絞るか、能力のある専門家の協力を仰ぐべき。そもそも米子市役所に、このプロジェクトを舵取りする能力のある人材がいらないのではないかと危惧している。
16. 駅北からのイメージ図に、「予備設計に基づくイメージ図であり、デザイン・色彩などは、確定したものではありません」と記載がありますが、「デザイン」とは、本来「設計」のことであり、形態や意匠に限らず、人間の行為をより良いかたちで適えるための「計画」という意味を持ちます。ここで用いられた「デザイン」に語弊があるため、資料の内容が理解できない。
17. 米子市の玄関口にふさわし都市環境を創出すると謳いながら、南北自由化通路とは名前ばかり、ただの歩道橋にしか見えないパースが提示されている。
18. 予備設計が行われたにも関わらず、デザインが確定していないという意味が解らない。今後、この歩道橋にしか見えない設計をどのように見直し、どのように市民のコンセンサスを取って進めるのかのアイデアが必要。
19. 予備設計で行われた検討と、設計の内容について、もう少し詳細に説明して下さい。
20. 具体的に今までの経緯と、検証された内容に一般市民が簡単に情報にアクセス出来るようにもして欲しい。(南側開発計画の目処が立たないから、南北自由化の事業はしない方針だったのでは?)

21. 自由化通路は歩行者専用とあるが、純粹に歩行者として南北自由化通路を利用する人数が少なすぎる。
22. 用途を歩道に限定しない、魅力的な原っぱのような都市空間をそこに創出できるなどの発想があれば、次世代に残すべき南北自由化通路をつくる意味のあるモノと考えることが出来る。
23. 南北自由化通路は、自転車の通行(押し引き)を可能にしてください。
24. 駅南の交通安全対策に配慮して下さい。 現在でも交通に不便な箇所、交通事故が多発する交差点があるようです。 駅南広場の整備に伴う交通量増加に地元住民から不安の声が上がっています。
25. 8月に米子高専建築学科の研修室が「米子駅についてみんなで考える会」を開催され、米子駅見学会と、新しい米子駅を考えるワークショップが行われたが、南北自由化通路の事業や駅南広場の事業について市民からの質疑に答えられる市の職員が参加されていなかった。 米子駅の今後に関心の高いかたが集まるのが前提であることが明白でありながら、担当課の事業の担当者や、部長や課長が参加されなかったのは何故か。 そもそもこういった場合は、米子市の行政が率先して催すべきものではないのか。
26. 南北自由化通路や駅南広場の担当者さんも、「新駅ビルは民間企業の事業ですから」と説明されるが、多額の補償費をJRの駅ビルに充てるのに、新駅ビルの事業について情報提供も得られず、米子市の行政や市民や利用者がその内容に意見が出来ないのは可怪しい。
27. 新駅ビルの規模や内容が未定の状況でこれ以上設計を進める必要はない。
28. 市の職員さんは南北自由化通路を市道で市の事業、新駅ビルはJRの事業と説明されるが、市民にとっては駅舎全体がマチの顔であり、現在の駅ビル1/3だけではなく、新駅ビル、残存ビルについても情報を提示した上で、南北自由化通路、駅南広場、駅北の状況についても考えるべき。
29. 事業を初めから見直すべきだと考えますが、出来ないなら少なくとも今の段階でも、新駅ビル、半橋上駅、及び、南北自由化通路、残存駅ビルの整備の仕方において、共通のコンセプトを持ってデザインすることを明示してください。
30. 今回のパブリックコメント終了後に、「米子駅南北自由化通路と駅南広場の整備にかかる市民説明会」が行われるようであるが、開催の順序が逆。 公に市民に説明する場を設けないまま、コメントを求めるのは可怪しい。
31. 市民と、行政と、専門家が一緒に考えていくキッカケや、仕組みやが欲しい。
32. 外から来る人にとって、どういう印象を与える駅にするか明示して欲しい。
33. 米子駅が帰ってきてほっとするような駅になったら良いな。
34. 米子駅が人生の門出に相応しい場所になったら良いな。
35. 米子駅が人生の重要な出会いとか別れに相応しい場所であって欲しい。

36. この駅のパースを見てもワクワクしないし、こんな駅になってしまうんだと思うと、本当に残念だし、駅舎って建替えとか滅多にないから、正直自分達世代の力不足でこんな駅になっちゃって、自分の子供達もこんな駅を使うハメになるのかと思うと不憫でなりません。
37. 欲を言うと「コレが米子駅だよ！」と外から来た人にも少し自慢できる駅になると嬉しい。
38. 大学の研究室などに依頼し、専門家を交えて本事業を見直すべき。
39. JRも絡み、事業主体も複雑となるこのような事業においては、行政と市民が濃密なやり取りを展開するには、市民に第三者的立場で説明の出来る研究者や専門家が必要だと考える。
40. 宮崎県の延岡市では、「延岡駅周辺整備デザイン監修者」を選ぶプロポーザルコンペが行われ、土木の予備設計に当たる駅周辺整備の監修者を人選している。本当に参考になる。
41. 埼玉県北本市の「北本らしい“顔”の駅前づくりプロジェクト」が参考になる。4年間掛けて市民と専門家、行政が一緒になって、地域資源や人材を掘り起こし、北本の玄関口にふさわしい駅前広場について考えて、マチの玄関口、マチの顔となる西口広場を整備している。
42. 埼玉県の北本市にある北本駅西口広場は、市民と専門家、行政が一緒になって、つくる段階から、完成後の広場をどのように使い、活用していくのかについても議論している。
43. 延岡市は動画(YOU TUBE)の市政だよりを公開していて、延岡駅の周辺整備基本計画についての説明を市長自ら行っている。市民説明会やシンポジウムを必要時に開催するだけだ無く、人の顔や声と合わせて、情報発信する手段が簡単になっているので、説明会やシンポジウムに行けない忙しい人にも解かりやすい情報を届けれるよう頑張っ欲しい。自分もいつも忙しくしているので、もっと上手いこと米子市の行政マンにも頑張っ欲しい。

・本票を用いず、任意の様式で提出いただくこともできます。その際には、住所・氏名・電話番号をご記入の上、ご提出ください。